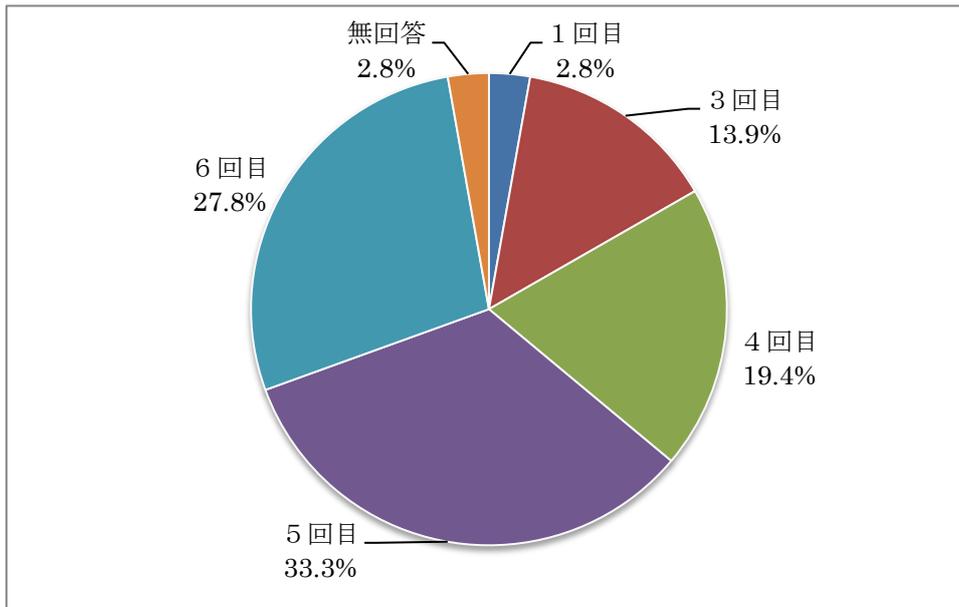


## 第6回 逗子の未来協議会 アンケート結果

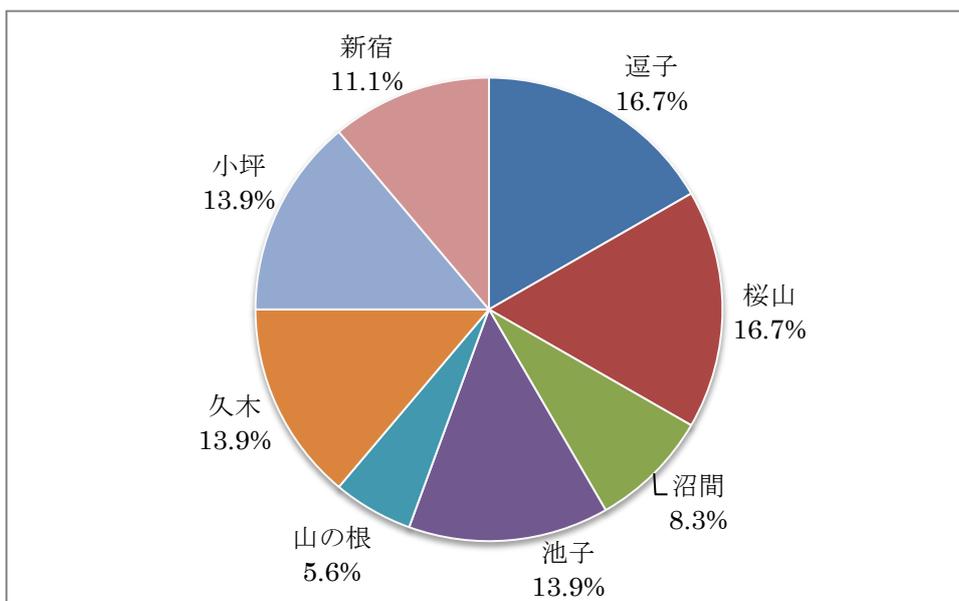
実施日：平成28年12月17日（土）

回収数：36（回収率92%）

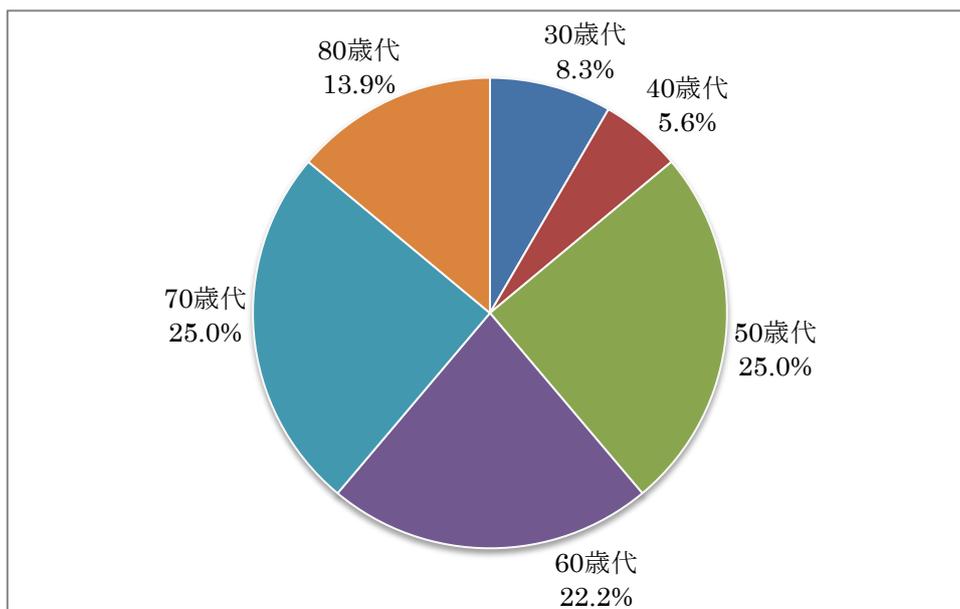
### 1 第6回参加者の参加状況



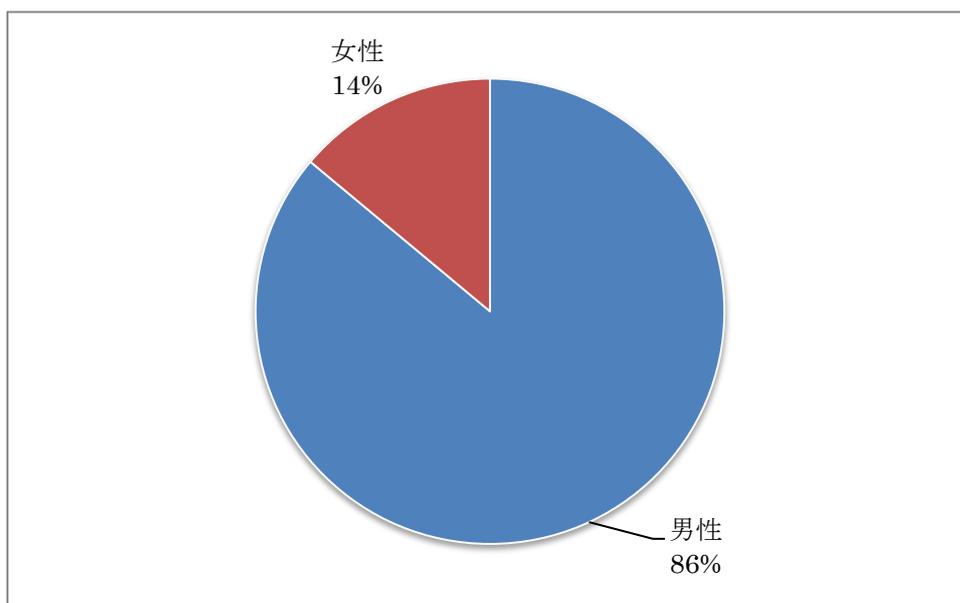
### 2 第6回参加者の居住地



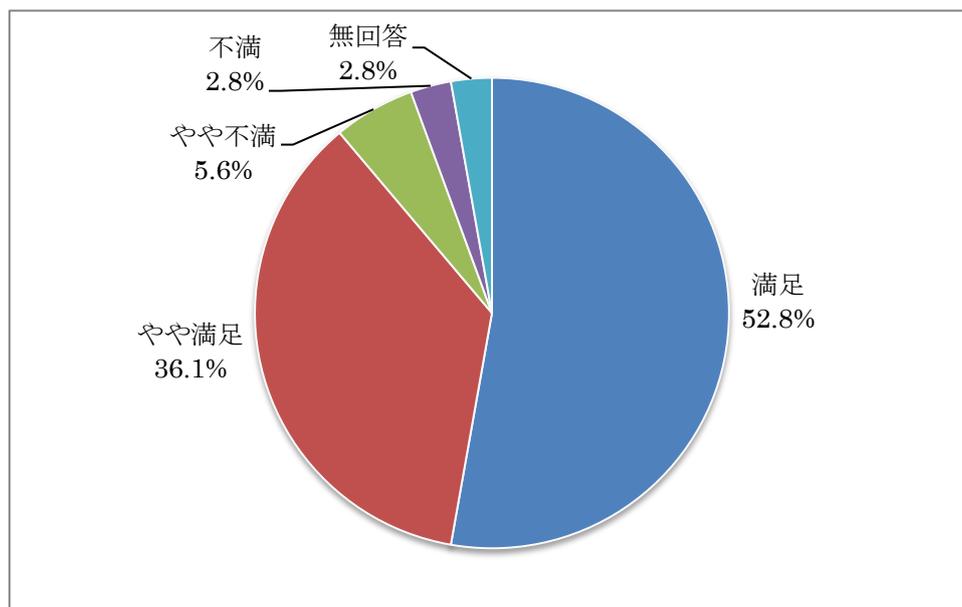
### 3 第6回参加者の年代



### 4 第6回参加者の性別



## 5 第6回の感想



### 【「1. 満足」を選択した理由】

- ◆ しっかりした話し合いができたので、とても満足でした。他グループとも似た意見があったので、皆同じようなイメージかなと思いました。
- ◆ 多様な市政への想い、切り口を直に触れられた。
- ◆ さまざまな意見を聞くことができたこと。
- ◆ 皆さんと十分に話し合うことができました。逗子市民の意識の高さを、市はもっと利用して欲しい。
- ◆ 仲良く情報、心配事の共有ができた。
- ◆ とても良くまとまっていて、話していて面白かった。
- ◆ 短時間で4つのテーマについて相互に関連付けてうまくまとめることができた。
- ◆ グループの皆がそれぞれ意見を出し、それをうまくまとめてくれた。
- ◆ グループ内でまとまりのある議論ができた。
- ◆ 具体的 output が出たので、達成感がありました。
- ◆ グループメンバーが良かった。レベルがそろい高かった。
- ◆ 初めての試み、面白かった。
- ◆ 今日もしっかり意見を発言することができました。思いを形にしていくことが重要だと考えています。
- ◆ 意見が反映された。
- ◆ 難しい。勉強します。

### 【「2. やや満足」を選択した理由】

- ◆ 時間的制約→あと1時間あれば深掘できる。
- ◆ 課題が多く、議論の時間が短い。内容は良いと思います。
- ◆ いろいろな意見が出されていて、参加してない条例の必要さを知らされた。
- ◆ 思いを伝えられた。だんだんと皆の思いがまとまってきたように感じられた。

- ◆ 条文案まで落とし込むのは難しすぎる。
- ◆ やや消化不良。
- ◆ 自分の考えをもって参加できた。グループでのまとめが良くできた。
- ◆ さまざまな意見が聞けた。皆の意見がまとまり、同じ方向に向かっている（参加者全体）のが感じられた。
- ◆ もっと時間が欲しい。とことん談合ができると良い。
- ◆ 有意義な意見交換ができたが、まとめ切れなかった。
- ◆ 条例の前文ということに絞って意見を述べあうことができた。

### **【「3. やや不満」を選択した理由】**

- ◆ 5回参加したが、毎回同じような結果になりそうな感じがします。
- ◆ 進行がごたついた。無理にまとめようとしない方が良い。

### **【「4. 不満」を選択した理由】**

- ◆ コーディネーターが途中でルールを変更し、意図的に当局側へ誘導しようとするのは問題である。せっかく築き上げた信頼を失ってしまう。

## **6 今後、ワークショップで話し合いたいテーマ**

- ◆ 毎回同様な構成で時間が経過している感じ。発想を変えてフリートーキングで、それぞれ思いを出したら実のある成果が得られるのではないのでしょうか？
- ◆ 総審協との関係を明確にしたい。
- ◆ 議会のあり方
- ◆ 自治会のあり方
- ◆ 憲法前文とともに条例前文に、目標の次に条例の取り進めの中、行政の姿勢を。憲法第3章国民の権利及び義務の第15条第1項、第2項の精神を盛り込むこと。
- ◆ なにゆえにこのような条例が必要なのか、その重要性とはどんなことか。
- ◆ 18～49歳のみの回をつくってはいがかでしょうか？（その中の学生だけ、社会人だけ、など）「途中から参加」となると、出席しづらい可能性もあるので、初回WSと同じ内容で、開催するなど。または意見をメールで募集するなど。～49歳／49歳以上の2つのグループで開催・進行して、都度、内容をシェアするなど、より幅広い意見がひろえるのではないのでしょうか？
- ◆ 情報の共有
- ◆ 人間スケールの自治単位
- ◆ 自治基本条例と現行条例の具体的な関係性（話したいと言うより、知りたい点）